

今年度の特記事項

1 新型コロナウイルスクラスター発生の発生

2022年2月11日から3月5日にかけて利用者43名・職員15名のクラスターが発生、直ちに多摩府中保健所の指導・助言を受けたが、東京都および多摩地区も感染拡大のピーク時にあり、初めの陽性者は発熱通院により陽性が判明したが、施設内療養となった。直ちにPCR検査を実施し、一挙15名の陽性が判明 クラスター状態となり非常に厳しい状況におかれた。重ねて職員の陽性者も順次増加となり、他施設から職員応援を得たが、ギリギリの介護に追われた。発熱者が数名いたが入院できず 救急対応で入院できた利用者も入院先を確定するまでに7時間もかかったこともあった。発症した2日後にワクチン接種を予定しており、3回目の接種は未実施だった。また多くの感染者が入院できず、連鎖が防ぎきれなかった。施設管理医のもと、新薬も与薬したが、大きなカプセルであり、かつ5日で40錠に飲めない方もいた。保健所の指導により感染拡大を3階フロアに止める方針で最大限の予防に取り組んだ。虚弱な高齢者施設で体力、免疫力も低下している状況でのウイルスの恐ろしさを痛感した。コロナが要因でお亡くなりになった方が10名、治癒したが発症が起因となりADLの急激な低下等により5名、この期間にコロナは陰性であったが、環境の変化も影響し、食事量も低下し老衰が早まりお看取り対応した方が7名と悲惨な状況であった。お亡くなりになったご利用者・ご家族には心よりお悔やみを申し上げ職員一同でお見送りをした。

今後は、陽性者の即隔離（入院）適宜のワクチン接種等教訓として生かしていかなければならない。

2 各事業の稼働率各事業の稼働率

特養（94％）短期入所生活介護（76％）通所介護（66％）認知症対応型通所介護（76％）

3 新型コロナウイルス感染症予防対策（施設内に持ち込まない）

訓練や備品の準備、情報収集、職員へのPCR検査の実施と取り組んではきたが残念な結果となった。体験したことを踏まえ、前記にあげた取り組みについて、再度見直し、事業継続計画（BCP）の更なる計画作成と感染症対策研修の徹底、最新の情報収集による訓練の実施、備品の確保を進めるとともに、職員一人一人の意識を再構築する。

4 3か年最終年度、施設整備として、2月から6月（5か月間）空調更新工事を無事に終え、12月から始まるエレベータ・ダムウエーター更新工事に伴い、9月に階段昇降機の取り付けを行い、更新工事への対応と災害時に活用できる環境とICT機器（記録管理システム・眠りスキャン・リフト等）を導入、環境を整え活用することで、業務の考え方や利用者把握につなげることができた。利用者満足の点ではコロナ禍2年目を迎え、フロア単位で行ってきた行事を中心にご利用者とゆっくり過ごす時間を大切に企画を実施する中で、敬老を祝う会では、職員がご家族からのお祝いのお手紙を読み上げ、一味違う活動内容となった。